

## 「第12回 水のエッセイコンテスト表彰式」開催について

「水のエッセイコンテスト実行委員会(実行委員長:清水 誠(東京大学名誉教授))」では、全国の高校生を対象とした「水のエッセイコンテスト」を主催しています。このコンテストは、水と人との関わり合いを様々な角度から見つめ直し、水への思いを綴ったエッセイを募集したもので、今年度は全国203校より10,048名の応募がありました。

このたびは第12回の入賞者が決定し、表彰式を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

### 記

#### 「第12回 水のエッセイコンテスト」表彰式

<日 時> 2004年11月21日(日) 13時00分～

<会 場> 如水会館 「富士の間」

千代田区一ツ橋2 - 1 - 1 TEL 03-3261-1101

平成16年11月19日(金)  
国土交通省四国地方整備局  
那賀川河川事務所

#### 問合せ先

「水のエッセイコンテスト」実行委員会事務局  
〒101-0065東京都千代田区西神田1-3-6  
TEL 03-3292-3588  
FAX 03-3291-0223  
担当:笠原 由美子  
藤田 真理  
神澤 志摩

## 「第12回 水のエッセイコンテスト」の入賞者が決定

水のエッセイコンテスト実行委員会（実行委員長：清水 誠（東京大学名誉教授））では、全国の高校生を対象とした「水のエッセイコンテスト」を主催しているが、このたび第12回の入賞者が別紙の通り決定し、表彰式が11月21日（日）13時00分より如水会館（東京都千代田区一ツ橋）で行われる。後援は全国高等学校国語教育研究連合会。

このコンテストは、水と人との関わり合いを様々な角度から見つめ直して、水への思いを綴ったエッセイを募集したもので（募集開始6月18日、募集締切9月20日）、今年度は全国203校から、10,048名の応募があった。

厳正な審査の結果、團伊玖磨記念賞1名、最優秀賞5名、優秀賞10名が選ばれた。團伊玖磨記念賞は、第1回から当コンテストの審査員を務めた團伊玖磨先生の逝去にともない、若い世代の力を信じその未来を期待されていた團先生の思いを受け継ぐために2001年より開設されている。

表彰式には入賞者と保護者または指導にあたった先生が招待され、審査員の先生方からそれぞれの作品への個別講評をうけることとなっている。

審査員は、青池 慎一（慶應義塾大学教授）、牛島 倫子（鶴見大学教授）、竹村 公太郎（立命館大学客員教授）、橋本 喜一（東京都立江戸川高等学校校長・全国高等学校国語教育連合会会長）、松原 照子（ジャーナリスト）、宮田 親平（科学評論家）（敬称略・五十音順）。

全国高等学校国語教育研究連合会：全国の高等学校の国語教師が組織する全国規模の教育団体

## 第12回 水のエッセイコンテスト入賞者一覧

### 團伊玖磨記念賞2004(1名)

氏名	学校名	学年	タイトル
なるさわ 成沢 みらい 未来	長野県立須坂東高等学校	3	てんすい 天水

### 最優秀賞(5名)

氏名	学校名	学年	タイトル
たかみ 高見 けい 慶	静岡県立浜松北高等学校	1	命の水

氏名	学校名	学年	タイトル
むらせ 村瀬 ありさ 有紗	愛媛県立今治西高等学校	1	はずの露

氏名	学校名	学年	タイトル
くにた 国田 のぞみ 希望	青森県立青森高等学校	2	海峡

氏名	学校名	学年	タイトル
たなか 田中 なおと 直人	群馬県立長野原高等学校	3	水から生まれし光たち

氏名	学校名	学年	タイトル
はたやま 畑山 ともみ 朋美	福岡県立筑紫丘高等学校	2	父の教訓

### 優秀賞(10名)

氏名	学校名	学年	タイトル
まえかわ 前川 あきこ 亜希子	青森県立青森南高等学校	1	水は空に恋をする

氏名	学校名	学年	タイトル
まつおか 松岡 むねたけ 宗毅	福岡県立明善高等学校	2	水と野菜と農家の一日

氏名	学校名	学年	タイトル
切替 郁恵 <small>きりかえ いくえ</small>	岩手県立盛岡第二高等学校	1	ご褒美は水

氏名	学校名	学年	タイトル
鐘江 真未 <small>かねがえ まみ</small>	福岡県立明善高等学校	1	ふるさと故郷に生きる川

氏名	学校名	学年	タイトル
菅野 響子 <small>かんの きょうこ</small>	山口県立防府商業高等学校	3	いのちの結晶

氏名	学校名	学年	タイトル
石川 智久 <small>いしかわ ともひさ</small>	青森県立三本木高等学校	2	水は生きている

氏名	学校名	学年	タイトル
佐々木 純子 <small>ささき じゅんこ</small>	愛媛県立新居浜西高等学校	1	水から学んだこと

氏名	学校名	学年	タイトル
中山 阿悠美 <small>なかやま あゆみ</small>	福岡県立明善高等学校	1	あずまや四阿屋と歩む私の夢

氏名	学校名	学年	タイトル
早津 幸恵 <small>はやつ ゆきえ</small>	学習院女子高等科(東京都)	3	雨にぬれても

氏名	学校名	学年	タイトル
佐藤 芳 <small>さとう かおり</small>	福島県立平商業高等学校	3	七変化、海

## 審査員講評

牛島 倫子 先生（鶴見大学教授）

現在の高校の国語教育課程において、論理的思考・文学的描写まで養う余裕がない中で、このコンテストのような感性重視のエッセイに取り組むだけでも生徒達にとっては大変なことだろうと思う。入賞作品はどの作品にも「描こうという意思」や「表現を捜し求める探究心」が感じられた。

すばらしい才能をもった生徒たちが未来に伸びていく芽を、私たちは育ててあげないといけないと痛感している。

このコンテストを継続することによって、「水は永遠のテーマである」ということを、これからも生徒達に考えていってもらいたいと思う。

宮田 親平 先生（科学評論家）

全体的には生活感のある作品が減ってきたという印象をもったものの、今年は男子と1年生が増え、よい傾向である。

入賞作品は「不安定な傑作」と「安定した凡作」が混在した結果となった。

團伊玖磨記念賞を受賞した作品は、他に抜きん出ており、これは「安定した傑作」といえる。